

# 川北町土地改良区

川北町土地改良区は、霊峰白山を源とする手取川によって形成された扇状地の南部に位置し、手取川右岸に細長く沿っている。

手取川は、かつては県下一の暴れ川であり、流域の住民は永く洪水被害に悩まされてきた。特に、昭和9年7月11日の大洪水では、多くの市町村に甚大な被害をもたらし、川北町においても死者23名の犠牲者を出している。古来から繰り返された氾濫により、流域の農地は起伏が多く、耕土は10センチ程度と非常に浅い状態となっていたため、農業用水の確保や水稲の作付には多大な労苦が必要であった。

このような状況を改善するため、昭和38年度の構造改善事業及び団体営圃場整備事業をはじめ、昭和45年度からの県営圃場整備事業など、次々と計画的に基盤整備を行ってきた。

当地では、昭和45年度から58年度にかけて県営ほ場整備事業川北中部地区を皮切りに、昭和47年度から平成元年度にかけての川北西部地区、昭和56年度から平成5年度にかけての川北東部地区の全3地区延べ約700ha

を施工。また、これを補完する形で団体営事業などを実施し、県内で唯一、ほ場整備率100%を達成し、加賀平野における米の主要生産地となっている。

当改良区内の用水については、幹線用水路は手取川七ヶ用土地改良区が管理しており、末端の用水路は当改良区の指導のもと、地元の生産組合が行う仕組みとなっている。

大規模な事業については完了しているため、当改良区では、21世紀土地改良区創造運動や、町の全域をカバーする農地・水・環境保全向上対策についても、活動グループの構成員として指導を行うなど、豊かで活力ある農業農村を築いていくために努力しているところである。

住 所：能美郡川北町壺ツ屋174番地  
(川北町役場内)  
設立年月日：昭和28年3月17日  
受益面積：793ha  
理事長名：西田耕豊(川北町長)  
組合員数：812名  
職員数：0名(町職員2名が兼務)  
(平成21年3月1日現在)



発行所：金沢市古府1丁目197番地  
石川県土地改良事業団体連合会  
電話 076-249-7181

印刷所：(株)谷印刷

